

第2学年

投書した人の立場の違いを考え、自分の考えをまとめる

1 新聞活用 のねらい

第1学年では、投書には多様な立場や考えがあることを学習した。

第2学年では、あるテーマについて、立場の違いによる主張の差を理解するとともに、自分自身の考えを重ね合わせる「情報の加工」力の育成を目指す。

2 学習指導 要領との 関連

- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)のイ ……自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。
- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のオ ……目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。

3 学習計画 と指導の ポイント

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">①新聞記事の投書欄を集め②集めた記事のなかから比較する視点を決める③比較する項目にしたがって、2つの投書の内容を深く読み取る④自分の考えに近い投書の筆者にあてて、手紙形式で感想をまとめる | <ul style="list-style-type: none">● 中学生や同世代の人々の投書や、その投書への賛成、反対意見などを記した投書を集めさせる。● ある投書に関連する「○日付本欄……」といった表記法の特徴に触れ、集め方のポイントを理解させる。● 立場の違いを考えるという課題を確認し、対比する内容の投書や多様な考え方を引き出せる内容のものを選ぶように助言する。● ここでは、資料1、2を取りあげた。「手作り弁当を」主張する中学生の投書と、それに対する主婦の「自分も弁当作りに参加しては?」という投書を比較し、冷凍食品使用の是非を視点として設定した。 資料①②● 身近な題材であり、内容の読み取りにあたっては自分の経験を振り返りながら感想をもつように助言する。● 手紙文の形式を踏まえ、資料1、2の筆者あてに自分の考えを伝える感想を書かせる。 資料③● 小グループあるいは全体で発表し、自分の表現力向上に役立てる。 |
|--|---|

4 評価

- 地方紙や全国紙の投書欄から、目当てとする投書を一定期間継続して探し出すことができたか。
- 自分なりに違う立場の考えを比べる視点を定めることができたか。
- 視点をもとに、深く読み取ることができたか。
- 自分の考えと比べて感想をまとめることができたか。

総合的な学習の時間

ワンポイント アドバイス



▶「総合的な学習の時間」は、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力などの「生きる力」の育成や学び方、ものの考え方の習得などを狙っている。関連して、学校で学んだ知識が、実生活とどう結びつか、さらに実生活においてどう生かしていくかが重要視される。ここでは、同年代である中学生の日常的な体験に基づく提案に対して反響が起った事例を取りあげた。自分の体験を振り返って感想をまとめる活動に結びつき、自分の食生活を考え直すきっかけとなった。また、ディベートや調べ学習も可能になる。

資料① 每日新聞
1999.8.4付朝刊

弁当のおかずの冷凍食品に不安

今日は土曜日。いつものように授業が終わり、弁当の時間になった。弁当箱を開けると、今日も決まっておかずの一品は冷凍食品なのだ。
弁当を作るお母さんも時間がなくて大変だとは思うが、あまりにも冷凍食品にたより過ぎるのはいけないと思う。なぜかというと、冷凍食品を作ったのであるが、見た目をよくする。そのため着色料も数多く使われている。また、長持ちさせるために保存料も使われてるので、体にとても悪いのではないか、心配である。このように、みんなも知っていると思ふ。

ではなぜ買ってしまうのか。それは、値段も手ごろだし、作るのが簡単だからだ。しかし、子供の健康のことを考えておかずを全部手作りにしたらどうだろう。ねえ、お母さん。

資料② 每日新聞
1999. 8. 13 付朝刊

弁当のおかずを自分でも作っては

4日本編「弁当」
山形県河北町)のおかずの冷凍食
品に不安」を読ま
せていただきまし
た。
「お母さんは時
間もなく大変」とお母さんの立
場も理解してあげ
ていいのは大変よ
いことだと思いま
す。
けれど、1品だけ入つていい冷凍
食品に不満を持つ
のは、お母さんに
感心するような気がし
ていいわけませんね。
口にするのはたまらないことで
す。しかし、その前に、自分
のできること何かを考え
行動してみましょう。
冷凍食品に代えて、せめて
1品だけでも、自分で何か作
つてみたらどうでしようか。
週に一度、土曜日だけのお弁
当なんや、難しいことではない
でしょ。
これまで家庭科で教わった
ことを実習するチャンスです。
よきと台所に立つ樂しさ、
お母さんの大変を少し分か
るはず。お弁当作りはお
母さんの仕事、なーんて思つ
ていいわけませんね。

資料③ 国語・表現の授業で書いた生徒の感想文

私は反対です。
お母さんのことをよく考えて下さ
い。凍食人口はお母さんにとて
お父さんのパートナーだと思いま
す。だから、ちょっとのがまんと
思いやりでお母さんを梶にでき
ると思います。
それこそ保存料や着色料がへて
るのはすこしうまいあると困りますの
がまたがやぱり大切です。
がんばって下さい。

井上さんへ
わたくしは、あなたの意見見に賛成
です。
イヤ呀、一囃子代えただけで家庭科
の実習に五年なるし、はやく起きてア一
石二鳥になるのでヒヤモリいいこと
だらうではあるでしょ？
しかも、お母さんの手伝いをすれ
ば、お母さんも助かるしわ。私は、いつ
も平日があつて弁当のある時は手
伝つてなるべく冷凍食品をなくして
います。
旦那様に、私もいろいろと冷凍食品
を使わないよつとしているので、井上さん
も子供にあまり食べさせないようこ
そかねしていいて下さい。

井上さんと同じこと。
お弁当に「よくある」物が入っている
があり、その時は「自分で」という物を
しゃべる「セーブル」に「カツ」と思って
食べます。でもよくあります。
でもよく考へると、家族で一番
はやくおきて、曲をつかて、夏も冬も
大柄^{だいがら}であります。田舎^{いなか}であります。
冷凍食品を「一口」くらいいつかっても、はち
はおこなつないです。
これが「りすき」らしい「物」も、「するべく
たべて、よく台所で手伝いをしよ
う」と田舎^{いなか}でました。
ありがとうございました。